

江上 一郎 製錬過程の連続化に関する研究
 浅原 照三 公害対策化学
 加藤 正夫 アイソトープ発電
 星野 昌一 生産施設および都市の公害防止対策
 池辺 陽 設計法のシステム工学的研究
 松永 正久 固体表面に関する研究会

昭和43年度

選定研究

小瀬 輝次 多色気体レーザーの光学的研究
 大島康次郎 微小パターン位置決め装置に関する研究
 本多 健一 レーザ光源を用いた光化学反応の研究
 岡本 舜三 オートグラフ用材料動的引張圧縮繰返し試験装置一式

石井 聖光 公害となる振動の計測と伝搬に関する調査研究
 森 政弘 空間予測によるパターン認識の研究
 原島 文雄 インバータ誘導電動機系の動特性の解明
 植村 恒義 ホログラム高速度写真撮影装置の試作
 河添邦太郎 排ガス脱硫における酸化反応機構の研究
 北川 英夫 金属材料の破壊形式の判別に関するX線的研究
 原 善四郎 金属粉末の熱間圧延の研究

申請研究

浅原 照三 電極反応を利用する樹脂被覆鋼板の試作

鳥飼 安生 超音波材料試験装置
 浜崎 襄二 周波数純度の高出力一姿態 Ne-He ガスレーザー発振器の試作研究

共同研究計画推進費

岡本 舜三 耐震構造学研究センター
 “ マトリックス法による構造解析と最適設計法の研究 ”
 平尾 収 化学工場における爆発事故に関する研究
 石原 智男 機械系研究連絡会
 森脇 義雄 オンライン・データ処理に基づく最適設計システムの開発に関する研究
 尾上 守夫 情報の統計的検出および処理方式に関する開発研究
 江上 一郎 製錬過程および加工過程の連続化に関する研究
 浅原 照三 公害対策化学
 加藤 正夫 アイソトープ発電
 星野 昌一 環境防災計画
 星 埜 和 道路および交通に関する工学的諸問題に対する電子計算手法の確立
 池辺 陽 設計法のシステム工学的研究
 田中 尚 構造力学における統計的方法の研究
 松永 正久 超高圧電子顕微鏡の応用

正 誤 表 (4 月 号)

ページ	段	行	種 別	正	誤
7	右	29	本 文	無ひずみ信号 So (t) の前後±n/ 4W sec	無ひずみ信号の前後 ±n/4W sec
9	”		図 20	100kHz ± Δf/8	400kHz ± Δf/8
10	”	19	本 文	{1+4a ² cos ² θ+a ⁴ -4a (a ² +1) (A-5)	{1+4a ² +cos ² θ+a ⁴ -4a (a ² +1) (A-5)
”	”	24	”	(9-12cos2πfT+4cos 4πfT) (A-6)	(9-12cos2πfT)+4cos 4πfT) (A-6)
”	”	12	参考文献	1968	9168
35	右	7	”	A.L. Wchorter “Semiconductor Surface Physics”.....	A.L. McWborter “Semiconductor Surbance Physics”.....
38	左	29	本 文	ハ)	ニ)
”	”	31	”	ニ)	ハ)
41	”		表 1	Coverag given	Coverage girven
”	”		”	be occupied	beoccupied
”	”		”	zig zag 1	Zig Zag 1
41	左		”	Degeneracy usually	Degeneracy usnally

20周年誌 (生産研究 21 巻 5号) 正誤表

ページ	段	行	種 別	正	誤
表 2			配 置 図	東京大学生産技術研究所 麻布庁舎配置図	(脱落)
表 3			"	東京大学生産技術研究所 千葉実験所配置図	(脱落)
5	右		□ 絵 (説明文)	GHz 帯超音波	GHz 帯超音波
"	左		"	~10 ⁻¹⁰ Torr	~10 ⁻¹⁰ Torr
9	右		□ 絵 (波高分析器)	 b) a)	 a)
"	左		" (レーザミリ波)	 (写真版位置訂正)	
"	"		" (パルス変調器)	 (写真版)	 (写真版数字脱落)
10	右上		" (説明文)	(削 除)	1962年3月, 第14次操作の……顔を覆っている.
"	右下		" (説明文)	直流電源	直流電解
12	左下		" (ケミカルグラ ウト)	 (写真版位置訂正)	
23	右	下 12		39年4月	40年4月以降は……
26	左	上 22		同 上	同 上
29	左	上 7		38年度まで	39年度まで
33	左	上 20	座 談 会	強調	強調
39	左	下 5	"	そういうこと	そういうこと
"	左	下 4	"	テーマ	テーマ
40	右	図 9	"	学問	学門
43	右	上 22	"	問題と	問題を
45	右	下 17	"	まだ	また
58	左	上 3	研究開発の実例	を持った低重合体が	を持った低量重合体が
60	左	上 12	"	の末端電子密度が	の末端電子密度が
"	左	下 1	"	開始反応: (1)式を開始反応の下側にする	開始反応…
62	左	上 18	"	α, α, α-トリクロロール-ω-チオ	α, α, α-トリクロロール-ω-チオ
66	右	上 24	"	複雑	複雑
67	右	上 7	"	1)~3)	a)~c)
68	右	上 8	"	1968	1960
78	右	上 15	各部研究室 の研究概要	6. 超高周波超音波に関する研究 ¹¹⁾¹²⁾ 18)	6. 超高周波超音波に関する研究 ^{10)~ 12)18)}
87	左	上 21	"	4. ロールフォーミング	4. ロールフォーシング
90	左	上 25	"	(研究員 杉本隆尚)	(研究員 杉本隆就)
95	左	上 6	"	昭和29年~36年は富成襄助手	昭和34年~36年は富成襄助手
96	右	上 14	"	大形流体継手の	大形流体の継手の
99	左	下 7	"	耐震の面から調査検討を開始	耐震の面からの調査検討を開始
100	左	上 6	"	モーダル・アナリシス	モーダル・アラリシス
"	"	下 19	"	他方面における研究は	他方面における, 研究は
102	右	下 13	"	1) ……に関する研究 ^{1~2)}	1) ……に関する研究 ^{1~2)}
104	右	上 3	"	地震加速度の振動数成分	地震効率の振動成分
"	左	下 2	"	(1966)) 1966)
107	左	上 4	"	高電圧工学	高電在工学
"	右	下 19	"	塵埃	塵埃
114	右	下 10	"	この方向の研究として	この方問の研究として
115	左	上 24	"	ディジタルシステムにおける	ディジタルシユラムにおける
122	左	下 3	"	波変調 ¹⁾	波変調(1)

ページ	段	行	種別	正	誤	
122	左	下 2	各部研究室 の研究概要	行なった ²⁾ .	行なった。(2)	
"	右	下 8		"	究した ³⁾ .	究した。(3)
"	右	下 7		"	究した ⁴⁾ .	究した。(4)
"	左	下 4		"	にした ⁵⁾ .	にした。(5)
123	左	上 10		"	(東京電力……	(東力電力……
"	左	上 5	"	にした ⁶⁾ .	にした。(6)	
"	左	上 9	"	レーザ CT ⁷⁾	レーザ CT(7)	
"	右	上 8	"	……電子ビーム雑音の……	……電子ビーム雑音の……	
"	左	上 23	"	S. Saito, ……S. Shiraiishi	…… S. Shiraishe	
128	右	上 14	"	還元剤	還元済	
130	左	上 7	"	(昭和38年度～)	(昭和38年度～)	
"	右	上 26	"	TiC	Ti C	
133	左	上 12	"	の構造, 溶媒効果など	の構造. 溶媒効果など	
"	左	下 1	"	D. Swern,	D. Sween,	
"	右	上 1	"	れる顔料容積濃度,	れる. 顔料容積濃度,	
134	右	上 2	"	71, 918 (1968) 他2報	71, 918 (1968) 他1報	
137	右	上 9	"	歴史的	歴史的	
140	左	下 10	"	プロセス・コントロール	プロセス・コストロール	
"	右	下 10	"	粉炭吹き込み試験	粉炭吹きがみ試験	
154	左	上 15	"	Antisymmetrical	Antisymmtrical	
"	左	上 15	"	Cylindrical	Cyjindrical	
157	左	上 4	"	奨励賞	奨励費	
159	左	下 16	"	吊橋の耐震性	吊橋の耐震害	
"	右	上 24	"	振動台を用いて強制振動	振動台を用いて張度振動	
"	右	下 12	"	影響は複雑である	影響に複雑である	
167	左	上 16	"	力学的性質	力学的性質	
"	右	上 13	"	加熱溶接継手	加熱溶接接手	
169	左	下 16	"	田治見 宏	田治 見宏	
175	右	上 19	共同研究の概要	物理化学, 界面化学, 油脂化学	物理化学. 界面化学. 油脂化学	
"	右	下 1	"	……透過膜法,	……透膜過法,	
176	左	上 1	"	ポーラログラフィー	ポーラログラフィ	
"	左	上 6	"	と各種堅ろう度,	と各種堅ろう度,	
"	左	下 4	"	リビングポリマー生成	リビングポリマー生成	
"	左	下 1	"	教授 浅原照三,	教授浅原照三,	
"	右	上 19	"	リアクター中の流動およびセパレータ ーの	リアクタ中の流動およびセパレータの	
"	右	下 16	"	(テロマー)	(テロマ)	
"	右	下 13	"	研究した.	研究している.	
"	右	下 10	"	検討した	検討している	
177	左	上 9	"	……, 原料油から	……, 原料から	
"	左	下 16	"	の電解二量反応	の電解量反応	
"	右	上 21	"	ポリマーを合成し,	ポリマを合成し,	
"	右	上 23	"	モノマーから	モノマから	
"	右	上 25	"	ができる. 銅板を陰極とし,	ができる. 銅板を陰極とし,	
"	右	上 27	"	……銅板上に	……銅板上に	
"	右	下 10	"	……に成功した.	……に成巧した.	
178	右	下 10	"	助教授 早野茂夫・教授 浅原照三	助教授 早野茂夫・浅原照三	
"	右	下 8	"	遊離基が重合反応を	遊離基が重反応を	
180	左	上 9	"	阿弥陀	陣弥陀	
181	左	上 11	"	建築史学史	建築史学史	
"	左	上 13	"	建築教育・職能	建築教育職能	
182	左	下 1	"	としての ω -アミノカルボン	としての W -アミノカルボン	
"	右	下 26	"	超高压大電力	超高压電力	
191	左	上 34	教育活動 (表)	鉄筋コンクリート	鉄骨コンクリート	
192	右	上 9	"	アクリロニトリルの	アクーリロニトリルの	
193	左	上 1~2	"	柴田 碧	大島康次郎	

ページ	段	行	種 別	正	誤
193	左	上 3	教育活動 (表)	大島康次郎	"
195	右	上 15	"	44 賀屋和昭 電気工学 修 インバータによって駆動された誘導電動機の特 性に関する研究 沢井善三郎	(脱落)
"	右	下 13	"	共重合性	共重合成
"	右	下 32	"	ホログラフィ	ポログラフィ
196	左	下 25	"	文部省内地研究員	文部省内地留学生
"	左	上 26	"	シクロプロパン誘導体	ミルプロパン誘導体
"	左	下 19	"	池辺助教授	池辺助
"	左	下 17	"	山本教授	山本寛"
"	左	下 15	"	山辺助教授	山辺助"
"	左	下 13	"	星埜教授	星埜和"
"	左	下 10	"	石原助教授	石原"
"	右	上 26	"	39 大川明治 沢井教授 光電変換による カラーコントロールその原理と応用 川越工業高校教諭	(脱落)
"	右	"	"	39 稲葉正太郎 平尾教授 自動車の性能 と人間の動特性 市川工業高校教諭	(脱落)
"	右	上 26	"	構造用軽量器機コンクリート	構造用軽量骨材コンクリート
197	左	上 10	"	竹中教授, 大島助教授	竹中, 大島助教授
"	左	下 21	"	IR 利用による鉄鋼表面	IR 利用により鉄工表面
198	左	上 24	"	陶山安三, 高級オレフィンの反応に関する 研究	陶山安三, "
"	右	上 13	"	加藤良三 東亜燃料工業(株) 機器分析 を利用した有機合成反応機構の研究 浅原教授	(脱落)
199	左	上 12	"	アデカ・アーガス化学(株)	アデカ, アーガス化学(株)
"	左	上 26	"	泰楽誠一(株)日立製作所	泰楽誠一 日立製作所(株)
"	左	下 9	"	アデカ・アーガス化学(株)	アデカ, アーガス化学(株)
200	左	上 11	"	"	"
"	左	下 19	"	東京ラジュータ製造(株)	東京ラジュータ構造(株)
201	右	最 後	"	(田中 尚記)	(脱落)
203			機 構 図	(昭和44年4月1日現在)	(昭和44年度)
204		上 14	研究所の所員表	(削除)	併任教授 熊谷寛夫 応用電子工学 (26.4.1)
"		上 15	"	併任教授 森 大吉郎 (39.6.1)	" 森 大吉郎 (40.4.1)
"		上 16	"	玉本章夫 (40.4.1)	玉本章夫 (")
"		上 25	"	講師 鈴木敬愛 材材力学 44. 4. 1	
"		下 19	"	松永正久 34.11.10	松永正久 35. 2. 1
205		下 14	"	中村亦夫 39. 6. 1	中村亦夫 39. 5. 1
"		下 8	"	西川精一 34. 1. 1	西川精一 34. 4. 1
"		下 7	"	原善四郎 34. 4. 1	原善四郎 "
"		下 4	"	非鉄金属製錬工学	非鉄金属材料学
206		上 7	"	高橋武雄	高字武雄
208			研究所経費 の概要図2	・――・ 科学研究費 ・――・ 受託研究費 ・――・ 奨学寄附金 →円(単位千万円)	・――・ 科学研究費 ・――・ 受託研究費 ・――・ 奨学寄附金 →円(単位億円)
209	右	下 2		一層の充実	一属の充実
214	右	上 11	研究所の出版物	パレル研摩法	パレル研摩法
215		上 3	各種委員会・ 委員長在任表	43.10. 1 丸安教授	43.12. 1 丸安教授
"		上 6	"	37. 4. 1 高橋(武)教授	37. 4. 1 福田(武)教授
"		下 9	"	42. 6. 1 江上教授	42. 6. 1 菊池教授
"		下 3	"	42.10. 1 星埜教授	42.10. 1 星野教授
216	右	上 6	年 譜	(全長 1,340 mm)	(全長 1,340 cm)
"	右	上 7	"	31 1956	31 1951
"	右	下 13	"	常務委員会規程改訂実施	常務委員会規程実施
217	左	下 3	"	(構造力学の諸問題)	(構造力学諸問題)

ページ	段	行	種 別	正	誤
217	右	上 7~8	”	(生研の超高層観測機器学部門がこれに移った)	(生研のロケット部門がこれに移った)
”	右	上 25~26	年 譜	宇宙航空研究所に生研の超高層電子工学部門が移った。	宇宙航空研究所にロケット研究部門が移った。
218	右	上 13~14	”	6-26~28 第6回生研講習会(テーマ、耐震・防振の考え方)開催。	(脱落)
219	右	上 4	編集後記	記した研究室	託した研究室